

2026年度スローガン 「慣れた作業も 油断大敵 クレーンの扱い 基本から」

9月30日は 第47回『クレーンの日』

趣 旨

「クレーンの日」は、1980年に設定されて以来、本年で第47回目になります。

80年当時は、クレーン等による死傷者数は6,011人、死亡者数は184人にのぼりましたが、以降は長期的には減少傾向にあります。

2025年のクレーン等による死傷者数は1,453で前年と比べ135人(8.5%)の減少となり、死傷者数は過去最少であったコロナ禍の20年を下回りましたが、最近の状況を見ると、クレーン等に関係し一度に複数の労働者の命が奪われる重大な災害も発生しており、今後も気持ちを緩めることなくさらなる災害防止対策が望まれます。

23年に厚生労働省から第14次労働災害防止計画が公表され、死亡災害については「22年と比較して、27年までに5%以上減少させる」、死傷災害については、「増加傾向に歯止めをかけ27年までに減少させる」との目標が掲げられており、当協会に対しても労働

災害防止対策の推進に特段の協力が要請されているところです。

クレーン等による労働災害・事故防止を図るためには、事業者は法令に定められた基本の順守はもとより、クレーン等の性能検査、定期自主検査および点検・整備を確実に実施し、機能・構造等の要件を常に良好な状態に保持するとともに、日本クレーン協会規格等を活用して適正な作業標準を作成することが重要です。

さらに事業者は、その責任の下作業員に対してクレーン等の安全作業を行うための作業標準を徹底するなど、慣れによる省略行動を防ぎ、安全確保を図ることが求められています。また、作業員自身もクレーン等の運転および玉掛け作業について、定められた作業標準に基づき、基本を徹底し、クレーン等の安全作業を行うことが必要です。特に災害の多い玉掛け・玉外しの作業においては、玉掛け作業の安全に係るガイドラインに基づき、

つり荷の荷姿を確認するとともに、作業員相互の立ち位置を確認するなど、指差し呼称等により安全な状態であることを確認した後、クレーン等作業を安全に確実に進めることが重要です。このようなことから、26年度「クレーンの日」のスローガンを

「慣れた作業も 油断大敵 クレーンの扱い 基本から」

として展開します。

また、クレーン等作業に係る各種技能講習および特別教育に加えて、有資格者に対して法令改正、技術の進展等に伴う新たな知識の習得、技能を高めるための各種安全衛生教育を実施するなど、労働災害・事故防止のための教育を推進し、職場全体の安全衛生水準の向上を図ることにより、慣れと過信を取り除き、クレーン災害のない職場をつくりましょう。

日本クレーン協会



■主唱者：一般社団法人日本クレーン協会
■後 援：厚生労働省
■実施者：クレーン等関係者

災害のトータル補償

一般社団法人

全国建設業労災互助会

会 長 松 井 角 平

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-7-1(ミツワ小川町ビル5階)
TEL 03-3518-6551 FAX 03-3518-6585
URL <https://rousaigojyokai.or.jp/>

～確かな技術 豊かな経験～

重機仮設工事

株式会社 五 勇 組

山形県酒田市広野字荒田78番地の2
TEL0234-92-2439 FAX0234-92-3460

進展する地域とともに歩む

営業品目 橋梁・水管橋・水門・水圧鉄管・除塵機・クレーン・調査設計

東開工業株式会社

代表取締役 高 野 次 郎

本社・工場／福島市佐倉下字観音堂11-3
TEL(024)593-4000代・FAX(024)593-4042
営 業 所／仙台



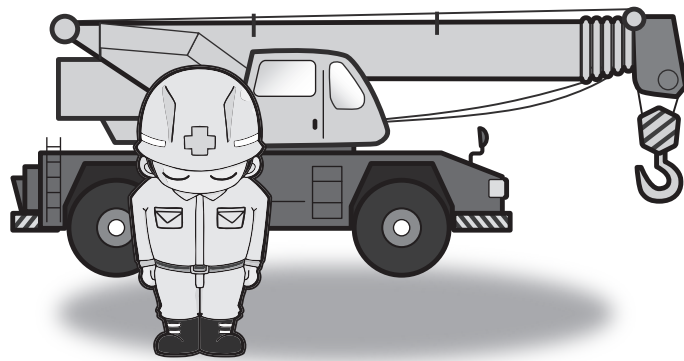
一般社団法人 全国クレーン建設業協会 宮城支部

適正な作業料金が、安全確保の近道

若い人材の育成

安心安全な職場環境確保

次世代への技能の継承



現役クレーンオペレーターの生活、また将来の担い手育成のためにも「**適正な作業料金**」について再考をお願いいたします。

安全を支える技術に、適正な評価を。

当協会は、現場の安全と技能者を守るため「**人件費・法定福利費・機械損料等**」を分割明記した適正価格提示を推進してまいります。

適正料金

発注者と受注者間での適正なクレーン作業料金の取り決め

就業時間

出庫から入庫までの移動時間を含めた施工計画

安全性

「移動式クレーン運転士安全衛生教育」受講者の優先使用

当協会は信頼と技術と安全のスペシャリストです。クレーン工事はぜひ当協会会員をご用命ください

宮城支部長
成澤 隆二

● イースト松島機工(株)
● (有)北宮城クレーン
● (有)紺野重機
● (有)佐藤重機興業(仙台市)
● (有)佐藤重機興業(気仙沼市)
● (有)斉忠建設
● シミズ(株)
● 新北上重機工業(株)
● 新港機工(株)

● (株)菅原重機
● (有)スマイルワークス
● 全豊興業(株)
● 大栄重機工業(株)
● (株)中條重機
● (有)東北特工
● トーホークレーン(株)
● (株)NICHUUN
● (株)光重機
● 久光重機工業(株)
● (株)フジ鉄鋼建設

● (有)藤倉クレーン
● (株)外園運輸機工東北支店
● 外園エンジニアリング(株)
● (有)丸全重機
● マルハマ重機(株)
● (株)ミウラ
● (有)明和機工
● 山田運送(株)
● 矢本重機興業(株)
● (株)若生技建

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5-3-2 TEL022-354-1974 FAX022-354-1978
<http://www.jccca-miyagi.jp/>

クレーンの日が9/30になったいきさつ

1967年11月1日に日本クレーン協会東海支部が「クレーンの日の集い」を開催して、優良クレーン運転士等の表彰や、クレーン等災害防止に関する講演や研究発表を行い、その後毎年11月1日にはこの集いを行ってきた。旧クレーン等安全規則は62年11月1日に労働基準法に基く、単独規則として施行され、また、この規則が、当協会設立の契機ともなったので、この11月1日は当協会として特に意義深い。

この東海支部の「クレーンの日」から数年遅れて当協会と同じく、クレーン等の性能検査の代行機関であるボイラ・クレーン協会が6月6日を「クレーンの日」としてPRを始めたために同じ労働省関係の団体が異なった日を「クレーンの日」としているという体裁の悪いこととなった。(現 厚生労働省)からも、いずれかに統一するよう勧奨されたが、それぞれ相当の年月が経過しており、いずれかに統一することは不可能となり、結局は折衷案として、9月30日に落ちつき、両協会の共同趣意書提出となったわけである。現行のクレーン等安全規則は労働安全衛生法に基

く規則として、旧クレーン等安全規則が改正されたもので、72年9月30日に公布された。

産業安全関係諸規則は従来、安全が労働条件の重要な部分を占めるとして労働基準法の関係規則となっていたが、安全を確保するためには、例えば発注者、元請、下請など単なる労使関係のみでは律し得ない部分もあることから、労働基準法とは別に単独法として労働安全衛生法が72年7月に制定された。その関係規則として、現行のクレーン等安全規則が誕生したため、この9月30日も意義深い日である。

“クレーン等の調査研究・知識・資格取得のスペシャリストです”

一般社団法人 日本クレーン協会東北支部

支部長 **渡邊 基史**

事務局 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-10-33
(第2日本オフィスビル705号) 電話022(263)3307

- 小型移動式クレーン運転技能講習
- 床上操作式クレーン運転技能講習
- 玉掛け技能講習

- クレーン運転特別教育
- クレーン運転士・移動式クレーン運転士・玉掛業務従事者安全衛生教育
- 天井クレーン・移動式クレーン定期自主検査者安全衛生教育(ステッカー貼付資格者)
- クレーンに関する専門図書販売

※技能講習・特別教育・安全衛生教育等の要講習に応じます。お気軽にご相談下さい。
※クレーン等の製造・販売・整備・設置事務所・賛助事業所・賛助者の入会をご案内しています。



地元宮城のクレーン屋

新北上重機工業株式会社

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5丁目3番2号
TEL 022(284)2222 FAX 022(284)2223
<https://www.2222kitakami.com>



新港 機工

本社/〒983-0013 仙台市宮城野区中野字掃沼 43-2
TEL.022-254-1881 FAX.022-254-1884

営業所/福島(相馬市) 事業所/ENEOS仙台製油所

- シンコークリエート株式会社(機器設置・膜工事) TEL.022-254-2031
- 新港運輸機工株式会社(重量物輸送・貨物運送業) TEL.022-352-6639
- シンコートレーディング株式会社(輸出入業務全般) TEL.022-259-6116

<http://shinko-kiko.ocm/>

成田鋼業の技術力は信頼された社員の集合体であり、永遠に愛される企業として活動していきます。



■橋型クレーン

天井・橋型他各種クレーン設計製作

ISO 9001:2015 認証取得

株式会社 成田鋼業

〔本社〕仙台市若林区中倉2丁目24-5
TEL.022(235)5555 FAX.022(235)5560
〔スチール事業部〕宮城県名取市下増田字広浦35
TEL.022(384)3824 FAX.022(382)5586

■天井クレーン



株式会社ヒルタ

宮城県石巻市須江字置石前1番15

TEL 0225-98-6828
FAX 0225-98-6825



株式会社 富士鉄鋼建設

代表取締役 **遠藤 武弘**

本社/仙台市若林区卸町東4-3-6
TEL.022(288)5134代 FAX.022(288)8359

工事部/仙台市若林区卸町東4-4-7
TEL.022(385)7591代 FAX.022(385)7592



EK Holdings Group

KAIATSU

開発重機株式会社

岩手県奥州市水沢工業団地1-52
TEL.0197-24-2012
FAX.0197-24-2140

<https://k-juki.com>

The Crane Machinery

takara

www.j-takara.jp

タカラ重機 株式会社

代表取締役 **青木 馨**

- 本社/〒990-0894 山形県山形市大字船町1080
Tel.023(684)2514 Fax.023(684)6284
- 酒田支店/〒998-0125 山形県酒田市広野字十五軒38-2
Tel.0234(92)2828 Fax.0234(92)2826
- 新潟営業所/〒950-0921 新潟県新潟市中央区京王2-4-15
Tel.025(286)2177 Fax.025(286)2178

「頼れる会社」を目指して

さまざまな現場で大きな力を発揮するマシン。
一希望と未来を乗せて…
トーホークレーンは今日も活躍しています。



トーホークレーン株式会社

代表取締役 **青山 龍平**

本社/〒991-0062 山形県寒河江市緑町4番地
TEL.0237(84)3335 FAX.0237(86)4611

庄内営業所/〒997-1321 山形県東田川郡三川町大字押切新田字前川原217-2
TEL.0235(26)7696 FAX.0235(26)7699

URL <https://www.toho-cr.co.jp/>

次世代の都市を構築する



三瓶重機建設株式会社

福島県須賀川市山寺道51

TEL (0248)75-3177代

URL <http://www.sanpei-jk.co.jp/>



安全を、技術で支える。

東京重機株式会社

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷8-55-33-2
TEL.03-3356-0211 (代表)

東京エンジニアリング支店
〒983-0007 宮城県仙台市宮城野区仙台港北2-5-8
TEL.022-259-8671

Instagram [@tk_tokyo](#)

TikTok [@tk_tokyo](#)



埼玉労働局長登録教習機関 登録番号第79号他 (登録期間 2024.3.31~2029.3.30)

一般財団法人 江南クレーン教習所

〒360-0115 埼玉県熊谷市成沢 893 番 048-539-0877 FAX 048-539-0876

インターネットご案内 <http://www.konan-crane.or.jp> E-mail: mail@konan-crane.or.jp

建築物石綿含有建材調査者講習、移動式クレーン運転士免許、クレ・デリ運転士免許、好評受付中!

江南クレーン **検索**